

## 貴党の摂食障害への取り組みが、当事者からの働きかけによることの確認を要望します

貴党におかれましては、拒食症・過食症をはじめとする摂食障害に関心を持っていただき、取り組むべき課題としてお考えくださっていることに感謝いたします。

さて、その課題に取り組むためのプロジェクトチームが、貴党内に設置されたと伺いました。ですが、そのチームについて、事実とは異なる認識が既成事実化されようとしています。

当該プロジェクトチームについては、一般社団法人日本摂食障害協会（以下、「協会」という。）とやり取りをされていると聞き及んでおります。今、その協会は「今回のプロジェクトチームは、我々が厚生労働省等に対しロビー活動を行った成果である」という発言をしています。

しかし、今回の発端となったのは、2019年11月10日に愛媛県松山市で行われた公明党愛媛県本部「政策要望懇談会」において、一般社団法人愛媛県摂食障害支援機構（以下、「機構」という。）が貴党に対し摂食障害の理解促進等に関する要望書を提出し、また貴党の諸先生方が議会において、摂食障害やマゼンタリボン運動についてご発言くださったことにあると私たちは認識しています。

しかるに、協会側は、これらを自らの成果であるとして、機構の存在を排除、本件に係る取り組みを黙殺し、機構側の声を取り上げてくださった貴党先生方のご功績を無にしようとしております。

なお、上記の主張は、協会事務局から機構に対して行われ、中には「ぎゃんぎゃんいわれると困る」といった当事者の声を無視しようとし、また、当事者団体を自らのコントロール下に置こうとする発言もありました。

協会は、わが国の摂食障害支援を代表する団体ですが、今回、当事者や当事者団体を自らのコントロール下に置き、当事者団体の働きかけによる成果を自らのものにすりかえようとする行為は、甚だしい人権侵害であると危惧しております。

これから摂食障害の取り組みが進み、当事者や家族にとって本当に生きやすい社会を作ろう、という機運の中で、今回のようなことは決して起こってはならないことです。

そのため、私たちは、摂食障害当事者の人権と未来を守るために、貴党に以下の事項について確認と保証を強く要望します。

### 嘆願内容

- ・貴党の摂食障害に関する取り組みが、愛媛県摂食障害支援機構からの働きかけが発端であることを確認し、貴党は当事者団体の声を聴く姿勢があることを保証してください。

氏名（仮名可）	住所（市区町村まで可）

※裏面にも署名欄があります。

<呼びかけ団体>

一般社団法人愛媛県摂食障害支援機構  
(マゼンタリボン運動本部)

愛媛県松山市湊町 7-6-10 マリンコミセン前ビル 2F

TEL089-909-5830 info@ehime-sessyoku.org

<取り扱い団体>

